

2025 年度
事業報告書

2025 年 4 月 1 日から
2026 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念のもと、「日本麻酔科学会中期・長期計画」ならびに事業計画に則り、各種事業を行った。

1. 役員 (2026年3月31日現在)

理事長 (代表理事) 内田 寛治 (理事)

常務理事 内田 寛治 (理事/理事長) 山内 正憲 (理事/副理事長/事務局長)
田中 克哉 (理事) 富岡 俊也 (理事) 原 哲也 (理事)
山田 高成 (理事)

理事 内田 寛治 山内 正憲 田中 克哉 富岡 俊也
原 哲也 山田 高成 井上 聡己 小澤 章子
垣花 学 上林 卓彦 川越いづみ 佐藤 哲文
渋谷 博美 杉田 道子 田辺瀬良美 谷口 巧
寺嶋 克幸 照井 克生 廣瀬 宗孝 藤村 直幸
藤原 亜紀 森松 博史 山口 重樹 山田 徳洪

監事 高雄 由美子 恒吉 勇男 中島 芳樹

代議員 331名 (2026年3月31日現在)

相川 勝洋 青木 優太 青山 和義 赤田 信二 秋永智永子 秋吉浩三郎 浅井 隆
朝井 裕一 麻生 知寿 吾妻 俊弘 虻川有香子 阿部 世紀 天谷 文昌 新井 丈郎
飯田 靖彦 五十嵐あゆ子 五十嵐 孝 生田 義浩 池田 栄浩 池田 健彦 池野 重雄
石井 祥代 石川 晴士 石川 真士 石田公美子 石田 高志 市川 順子 市原 靖子
伊藤 伸子 伊東 義忠 稲木敏一郎 稲葉 晋 井上 聡己 井上莊一郎 今宿 康彦
今町 憲貴 入嵩西 毅 岩崎 達雄 岩崎 肇 岩崎 雅江 印南 靖志 植木 隆介
上田 朝美 上野 博司 上村 幸子 内田 寛治 内田篤治郎 内野 博之 内山 智浩
梅垣 岳志 恵川 淳二 江木 盛時 枝長 充隆 大石 一成 大江 克憲 大木 浩
大下 恭子 大高 公成 大槻 明広 大橋 一郎 大島 博人 大畑めぐみ 岡崎 純子
岡本 浩嗣 岡安 理司 小川 幸志 荻野 祐一 奥 格 小倉 敬浩 小澤 章子
尾関 奏子 小野寺美子 小幡 典彦 尾前 毅 御室総一郎 甲斐 慎一 香川 哲郎
垣花 学 賀来 隆治 梶川 竜治 加藤 里絵 加藤 茂 加藤 純悟 角田 健
角田 奈美 金井 昭文 金本 匡史 神谷 一郎 紙谷 義孝 辛島 裕士 川口 昌彦
川越いづみ 川名 由貴 河野 崇 川股 知之 瓦口 至孝 卷野 将平 上林 卓彦
菊谷 健彦 菊地 信明 木田 景子 北川 裕利 北村 晶 北村 咲子 北村 祐司
北山 眞任 木下 真弓 木村 哲 木村 尚正 金 徹 日下 裕介 櫛方 哲也
葛本 直哉 久米 正記 倉橋 清泰 倉部 美起 黒川 智 黒澤 伸 小泉有美馨
小坂橋俊哉 合谷木 徹 小口 健史 小嶋亜希子 小杉志都子 小林 佳郎 小松 孝美
小山有紀子 齋藤 繁 齋藤 智彦 齊藤 仁志 佐伯 昇 酒井 陽子 坂口 嘉郎
坂本 成司 笹尾 潤一 笹川 智貴 笹野 信子 佐藤 哲文 佐藤 智行 佐藤 由美
讃岐美智義 佐和 貞治 澤井 俊幸 澤村 成史 重松 研二 重松次郎昌幸 信太 賢治

設楽 敏朗 篠塚 典弘 忍田 純哉 柴田 康之 渋谷 博美 島崎 睦久 清水 雄
 下田 栄彦 白阪 哲朗 白水 和宏 新宮 千尋 末廣 浩一 杉田 慎二 杉田 道子
 杉野 繁一 杉山 由紀 鈴木 愛枝 鈴木 健二 鈴木 健雄 鈴木 武志 鈴木 俊成
 須藤 貴史 関 博志 瀬戸口 秀一 祖父江和哉 高薄 敏史 高雄由美子 高岡 誠司
 高木 敏行 田垣内祐吾 高澤 知規 高田 基志 高橋 完 高橋 麗子 田北 彰
 武田 吉正 多田 文彦 田中 克哉 田中 具治 田中 聡 田中 裕之 田中 基
 田辺久美子 田辺瀬良美 谷 真規子 谷川 義則 谷口 巧 谷口 由枝 谷本 宏成
 田村 高廣 杖下 隆哉 辻田 美紀 堤 保夫 恒吉 勇男 坪内 宏樹 出田眞一郎
 寺尾 嘉彰 寺嶋 克幸 照井 克生 土井 克史 東條健太郎 時永 泰行 戸田雄一郎
 飛田 俊幸 戸部 賢 富岡 俊也 外山 裕章 中井希紫子 中澤 春政 長島 道生
 中嶋 康文 中島 芳樹 中筋 正人 長瀬 清 中根 正樹 中野 祥子 中原真由美
 長嶺 祐介 中村 勝彦 中村 教人 中村 隆治 中村 智之 中村 信人 中本 あい
 中山 禎人 成松 紀子 名和由布子 縄田 瑞木 新山 幸俊 西原 佑 丹羽 康則
 野間 秀樹 野村 有紀 橋口 光子 服部 政治 馬場 洋 濱口 眞輔 濱崎順一郎
 原 哲也 原 将人 原武 義和 盤井多美子 東みどり子 久利 通興 日高 秀邦
 平木 照之 平田 直之 平田 学 廣瀬 宗孝 福田 秀樹 藤谷 太郎 藤野 能久
 藤村 直幸 藤原 亜紀 藤原 淳 淵上 竜也 冬田 昌樹 古谷 健太 坊垣 昌彦
 干野 晃嗣 堀下 貴文 牧野 洋 孫 慶淑 間嶋 望 増井 健一 増澤 宗洋
 増田 美奈 松浦 正 松木 悠佳 松田 直之 松田 陽一 松永 明 松村 陽子
 松本 晶平 松本 重清 松本 充弘 丸山 晃一 三島 康典 水野圭一郎 溝田 敏幸
 南 浩太郎 簗島 梨恵 美馬 裕之 宮崎信一郎 宮田 裕史 宮津 光範 三好 寛二
 迎 雅彦 武藤ひろみ 村上 衛 村田 寛明 望月 利昭 森 隆 森 芳映
 森永 俊彦 森松 博史 森山 潔 安田 篤史 安田 善一 矢野 武志 山内 浩揮
 山内 正憲 山浦 健 山蔭 道明 山口 敬介 山口 重樹 山下 敦生 山下 幸一
 山田 圭輔 山田 高成 山田 徳洪 山梨 義高 山本 拓巳 山本 博俊 幸村 英文
 横田 修一 吉田 朱里 吉田 健史 吉沼 裕美 吉松 貴史 若泉 謙太 若崎るみ枝
 脇本 将寛 渡邊 恵介

※長谷川 麻衣子氏は 2026 年 1 月 19 日付辞任

2. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

(1) 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

(2) 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

(3) 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

(4) 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などの他職種医療従事者と真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

(5) 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

3. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 学術事業・交流事業

麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業

公2 教育事業・安全事業

会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業

公3 公益事業

一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業

(2) 収益事業等

- 収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業
- 収2 展示出展事業
- 収3 什器備品使用賃貸事業

(3) その他（管理運営部門）

4. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

- 1. 日 時：2025年4月25日（金）
- 2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・東京事務所
- 3. 理 事：24名 監事：3名
- 4. 出席者：理事23名 監事2名 オブザーバー：14名

第15回 定時社員総会

- 1. 日 時：2025年6月4日（水）
- 2. 場 所：神戸ポートピアホテル南館 ポートピアホール
- 3. 社 員 数：328名
- 4. 理事現在数：24名

5. 理事出席者数：24名
6. 出席社員数：324名（うち委任状25名，議決権行使書43名）

第2回 理事会

1. 日 時：2025年6月27日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事24名 監事：3名

第1回 臨時理事会

1. 日 時：2025年8月7日（木）
2. 場 所：WEB
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事21名 監事：2名

第3回 理事会

1. 日 時：2025年8月29日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事23名 監事：2名

第4回 理事会

1. 日 時：2025年11月28日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事23名 監事：2名 オブザーバー：5名

第2回 臨時理事会

1. 日 時：2025年12月25日（木）
2. 場 所：WEB
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事21名 監事：2名

第5回 理事会

1. 日 時：2026年3月27日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事23名 監事：2名

5. 事業報告

(1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1，公2，公3にある事業を組織運営上，委員会に割り振り運営を行っている。

公1は，学術事業，交流事業であり担当委員会は，以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は，教育事業，安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・多職種連携委員会（周術期管理チーム/特定行為研修管理）
- ・安全委員会

公3は、公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館委員会

(2) 収益事業

収1は、医師賠償責任保険，所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収2は、学術集会開催時に附設展示会を実施した。

収3は、当学会が所有している什器備品の一部を関連団体に賃貸した。

(3) 管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き，運営を行った。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局
- ・ハラスメント対策室
- ・DEI 推進室
- ・支部委員会

各委員会の委員長は理事とし，統括として常務理事をおいて運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

(1) 公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し，あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し，新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り，その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし，中期および短期計画を立案し，その実行にあたる。学術事業戦略は，大きく“学術集会運営”，“機関誌，準機関誌の発行・頒布，査読編集”，“麻酔科学用語集の編集・発行”に分けられる。

【2025 年度報告】

- ・第72回学術集会をハイブリッド形式で開催した。(6月5日(木)～6月7日(土)神戸会場開催，6月5日(木)～7月7日(月)WEB開催)
- ・2025年度支部学術集会を9月6日(土)，9月13日(土)に現地開催で実施した。
- ・第72回学術集会でJAシンポジウムをはじめとする学術活動に即した企画を実施した。また，第73回学術集会，第74回学術集会委員会企画を検討した。
- ・第73回学術集会ならびに支部学術集会における一般演題募集，年次学術集会では別区分でテーマ指定演題の募集を行い，症例報告を積極採択し，演題数増加を図った。さらに，募集要項は事前確認，事後検証を行い，適宜見直しをした。
- ・第73回学術集会における会長要望(テーマ指定演題の情報公開時期，企画の企業登壇，会長の重複登壇，中高生向け公開講座の開催等)について適宜検討した。
- ・2026年度学会賞を募集し，審査した。
- ・2027年度支部学術集会会場を検討した。
- ・2028年度支部学術集会会長を選定した。
- ・機関誌JA，JACR発行，機関誌の編集委託企業の適正および費用負担の推移を確認し，JACRについて今後の投稿費用負担を検討した。
- ・産科麻酔領域検討部会と連携し「labor analgesia」の和訳を検討した。
- ・年次学術集会の運営や在り方(医学生，研修医の参加方法，領域ワーキンググループ再編，症例報告発表の導入，AI同時通訳導入，2029年度会場選定)，支部学術集会の在り方(プログラム集の電子化)，

学術活動全体（サテライトメンバーの採用，委任方法）を検討した。

★委員会開催回数 6 回（5 月 15 日，7 月 16 日，9 月 24 日，10 月 31 日，1 月 22 日，3 月 18 日），持ち回り審議回数 27 回）

2) 国際交流委員会

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し，その中期および短期計画を立案，実行にあたる。

【2025 年度報告】

- ・第 72 回日本麻酔科学会学術集会併催；EACA 企画を実施
- ・第 74 回日本麻酔科学会学術集会国際交流委員会企画の検討
- ・会員向けマイページ“海外団体からのお知らせ”の欄に国際学会等の情報の掲示と提供
- ・MOU (ESAIC, ASA, KSA, CSA) 締結学会への派遣演者の検討，派遣候補者募集・審査の運用検討
- ・MOU (ESAIC, ASA, KSA, CSA) の内容確認，ならびに国際交流促進の戦略検討
- ・MOU (ESAIC, ASA, KSA, CSA) 締結学会への参加報告をニューズレターに掲載し，会員に参加促進を行うための広報活動を実施
- ・ESAIC との共同事業検討
- ・学会代表者とともに MOU 締結団体の学術集会，ならびに AACA (Asian Australasian Congress of Anesthesiologists) に参加し，各国代表者と Leadership Meeting を開催した。
- ・WFSA (World Federation of Societies of Anesthesiologists) の Council, Committees への会員立候補者の検討，申請のとりまとめを行った。
- ・AARS (Asian Australasian Regional Section) の役員改選に伴う，次期 Treasurer の検討

★委員会開催回数 4 回（7 月 3 日，9 月 29 日，11 月 14 日，3 月 13 日）
持ち回り審議回数 5 回 意見収集回数 2 回

3) 関連領域検討委員会

【業務内容】

関連領域検討委員会は，「他領域と協働する医療」に関連する交流事業として，集中治療，救急医療，疼痛治療，緩和医療，心臓血管麻酔，産科麻酔，小児麻酔などの麻酔科関連領域団体・構成員と協議・連携し，麻酔科医が幅広い分野においてその能力を発揮して活躍するための基盤構築にかかる活動を行う。

【2025 年度報告】

- ・無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）が作成するパニックカードについて，本学会で監修可能な内容を初期案として提案した。
- ・救急救命士気管挿管・ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管実習マニュアル，及び評価表を改訂し，改訂内容に沿って関連団体に連携した。
- ・日本麻酔科学会地域トレーニングサイト (AHA-BLS・ACLS 講習会) の開催委託事業について検討し，廃止を決定した。
- ・第 74 回学術集会の委員会企画を検討した。
- ・麻酔科学用語専門部会と連携し「labor analgesia」の和訳を検討した。
- ・第 31 回日本緩和医療学会学術大会に応募する合同シンポジウムを検討した。

★委員会開催回数 1 回（11 月 26 日） 持ち回り審議回数 10 回

<公2：教育・安全事業>

1) 教育委員会

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の1項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため、認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医、指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識、判断力、技術を向上、維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。

また、非会員に向けた教育事業と連携し、多職種への教育普及、認定の実施、関連団体との折衝を実施し、周術期管理チーム医療の確立を目指す。

【2025 年度報告】

- ・認定資格制度の運用・対応・制度変更・規則変更についての検討
- ・専門医試験日程の確認（口頭試験日程は向こう3年分、筆記試験日程は翌年度実施分の確定）
- ・筆記試験追試験の廃止
- ・口頭試験の試験会場の運営に関する検討（試験中の様子をどのように管理、把握するか等）
- ・日本専門医機構への要望内容の検討
- ・関連団体の発表業績の本学会申請単位としての適否審査
- ・研修プログラムの検討（整備基準改訂、修了証明書の書式改訂、連携施設 A・B 区分廃止の検討、カリキュラム制度基準改訂の検討）
- ・医師法第16条の10第1項に基づく厚生労働大臣からの意見（地域医療への配慮）について検討
- ・認定病院 年次報告未提出施設への対応検討
- ・認定資格に関するシステムに表示する区分名
- ・日本集中治療医学会 集中治療科専門医検討委員会の派遣委員交代の検討
- ・共通講習 2026年以降の他学会開催分運営委託終了に伴う手続き
- ・教育委員会副委員長及び第1部会 部会長交代対応
- ・WG名を変更し、臨床研修医に対する教育ガイドライン（手順書）を作成
- ・機構専門医更新要件について臨床実績認定用 E-test の導入と検討
- ・新しい指導医資格の教育・認定方法検討
- ・中期・短期計画（教育委員会分）の検討
- ・年次学術集会中 幕間掲示内容についての検討
- ・初期研修医に対する教育ガイドラインについての検討
- ・シニア専門医 専門医更新時の診療実績免除の代替の証明の詳細に関する検討
- ・単位付与対象についての検討
- ・シミュレーション教育のためのアンケートについての検討
- ・質の高い専門医の育成・生涯教育についての検討
- ・「臨床試験に関する教育」の講習会の講師依頼についての検討
- ・麻酔科認定病院 手術実施状況についてヒアリング
- ・歯科麻酔研修の件についてのサイトビジット
- ・麻酔科研修プログラム実施状況についてのヒアリング
- ・JALA 講習会のインストラクターについての検討
- ・研修プログラム整備基準変更についての検討
- ・専門医試験問題作成 box 利用についての検討
- ・専門医機構認定講習 e-learning での配信（今回より共通講習必須講習 B を追加）
- ・JSA-PIMS 入力について臨床実績報告部分に関する問い合わせについて回答
- ・ICD（インфекションコントロールドクター）講習会の申請、ICD 申請書類受付

★ 委員会開催回数 9回（4月10日、7月2日、8月14日、9月25日、10月17日、11月20日、12月12日、2月6日、3月13日） 持ち回り審議回数 9回

① 麻酔科認定医 新規・再認定審査

3回の申請期間ごとに認定申請受付が行われ、各申請受付後に書類審査を実施し、認定を行った。

② 麻酔科認定医 更新審査

9月～10月に認定申請受付、11月～2月に書類審査を実施し、更新認定を行った。

③ 麻酔科指導医 新規・更新審査

9月～10月に認定申請受付, 11月～2月に書類審査を実施し, 認定を行った。

④ 機構専門医 新規審査

5月～6月に認定申請受付, 7月～8月に書類審査を行い, 10月, 11月に試験を実施し, 日本専門医機構が認定する専門医資格の事前審査を行った。

⑤ 機構専門医 更新・再認定審査

9月～10月に認定申請受付, 11月～2月に書類審査を実施し, 日本専門医機構が認定する専門医資格の事前審査を行った。

2) 多職種連携委員会

【業務内容】

多職種連携委員会は麻酔科医が然るべき指導・管理・教育力を以て多職種連携組織を構築し, 医療安全を向上させるとともに, その人材育成と教育を行う。周術期管理チーム認定制度の運営, 特定行為研修(術中パッケージ)の審査と提供, 術後疼痛管理研修の提供等, これらに必要な各種教育教材・研修教材の制作と提供, 教育・研修過程の管理と修了確認を行う。

また, 他職種団体と協働して手術室の基礎教育レベルの底上げによる医療安全向上, 早期離床の実現を目指し, 実際の臨床現場における医療安全についても検証する。

【2025年度報告】

- ・令和7年度看護職員確保対策特別事業(特定研修修了者の活躍を促進するための実態調査事業)として, 認定病院代表専門医と周術期管理チーム認定資格保持者を対象にしたアンケートを実施した。
- ・第72回年次学術集会ならびに支部学術集会に併催する形で周術期管理チームセミナーを開催し, 後日e-learningで配信した。
- ・次年度の各種セミナーの企画を検討し, 決定した。
- ・周術期管理チーム認定筆記試験問題の検証, 本年度試験問題を作成した。
- ・以下の周術期管理チーム認定審査を行った。
 - ① 周術期管理チーム認定資格 新規審査
2025年5月15日～6月30日に認定申請受付, 7月～9月に書類審査, 11月15日に筆記試験を行い, 看護師, 薬剤師, 臨床工学技士の新規認定を行った。
 - ② 周術期管理チーム認定資格 更新審査
2025年10月1日～11月14日に認定申請受付, 11月～12月に書類審査を行い, 看護師, 薬剤師, 臨床工学技士の更新認定を行った。
 - ③ 周術期管理チーム認定資格 再認定審査
2025年10月1日～11月14日に認定申請受付, 11月～12月に書類審査を行い, 看護師, 薬剤師, 臨床工学技士の再認定を行った。
- ・周術期管理チームテキスト第5版校正, 発刊
- ・「術後疼痛管理チーム加算」に対応した研修の提供, 研修修了認定審査, 追加コンテンツを作成し, 配信した。
- ・4月に特定行為研修受講者が研修を開始出来るよう, 協力施設の受付, 受講者申請の受付を行い, 審査を行った。
- ・当年度の特定行為研修について進捗管理および修了審査を行った。
- ・E-learningコンテンツ提供企業と連携し, 特定行為研修の共通科目, 区分別科目の教材提供, 提供システムの改善点の検討, 運営, 指定研修機関としての管理事項の検討を行い, 進捗管理として面接含む運営を行った。
- ・臨床工学技士の術中麻酔関連補助業務に関する安全管理指針を制定し, FAQの作成に着手した。
- ・各団体との意見交換を行った。

★委員会開催回数 2回(9月11日, 1月30日) 持ち回り審議回数 6回 意見収集回数 2回

3) 安全委員会

【業務内容】

安全委員会は、麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する。安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い、さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する。安全事業戦略は、大きく4つの部門、統計調査・情報収集部門、麻酔関連機器部門、薬剤および麻酔手技部門、リスクマネジメント部門に分けられる。

【2025 年度報告】

・下記4件のガイドライン等の作成を完了した。その他5件は作成中であり、進捗状況を報告する。

◆改訂

・日本語版のみ作成

- ① 全身麻酔用医薬品投与制御プログラムに関する適正使用指針作成完了
- ② 危機的出血への対応ガイドライン作成完了
- ③ 安全な麻酔のためのモニター指針作成完了・FAQ日本語版及び英語版新規作成完了

・日本語版・英語版作成予定

- ① 悪性高熱症管理ガイドライン作成完了
- ② アナフィラキシーに対する対応プラクティカルガイド日本語版作成中
- ③ MEP モニタリング時の麻酔管理のためのプラクティカルガイド日本語版作成中
- ④ 安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイド日本語版作成中
- ⑤ 術前絶飲食ガイドラインWGメンバー確定

◆新規

・日本語版・英語版作成予定

- ① 抜管から術後早期までの安全な気道管理のための臨床ガイドライン日本語版（完成前に早期公開版有）・ダイジェスト版作成完了・英語版作成中

その他の事業については下記の通りである。

- ・会員からのインシデント報告に対する確認、調査、周知（医薬品適正評価対策/麻酔機器・麻酔手技安全対策）
- ・麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等（CCP）
- ・APSF ニュースレター日本語版発刊（2025年2月号、6月号）
- ・医療事故調査への協力
- ・抗血栓療法ガイドライン（日本ペインクリニック学会、日本区域麻酔学会と合同）改訂版作成中
- ・麻酔関連薬品の供給・麻酔機器に関する検討、情報周知

★委員会開催回数 2回(5月21日、1月22日) 持ち回り審議回数 19回 意見収集回数 10回

<公3：公益事業>

1) 広報委員会

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き、本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する。本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の対象は一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に分けられる。

【2025 年度報告】

第72回学術集会における医学生・臨床研修医（初期）招待企画開催およびアンケート実施ならびに次年度企画の検討、メディアからの問い合わせ・取材依頼への対応や重要ニュースの掲載、麻酔のしおり改訂検討ニュースレターの企画・校正・発刊、毎月のメルマガ配信等を行った。また、麻酔の日PR動画を

作成・公開し、動画のQRコードを掲載したポスターを認定病院に送付した。さらに、ニューズレターの電子化を含む中長期的な広報戦略の検討を行った。

U40/ITFでは、公式Xの配信、第72回学会集会上におけるブース展示および次年度企画の検討、AACAで使用するショート動画の作成を行った。周術期禁煙推進WGでは、周術期禁煙推進動画の公開や周術期禁煙プラクティカルガイドの改訂検討を行った他、周術期禁煙啓発動画ショートバージョンの制作に着手した。

★委員会開催回数 3回（8月7日、10月29日、3月2日）、持ち回り審議回数 15回、意見収集回数11回

2) 麻酔博物館委員会

【事業概要】

麻酔に関する資料を収集、収蔵し、麻酔科医ならびに麻酔の歴史を博物館に展示、国民への普及啓発を行う。

【2025年度報告】

- ・書籍、文書保存、書籍の整理(棚卸・製本・不要書籍の廃棄処分)
- ・麻酔博物館寄贈品の選定と受入れ
- ・神戸SDGsプログラム等団体見学19件受け入れ、「麻酔の日」のための特別開館
- ・博物館インタビュー：方針の見直しが必要となったため本年は未実施
- ・各大学の麻酔科学教室の沿革情報収集
- ・第72回学会集会上特別展示実施、学会集会博物館委員会企画実施
- ・第74回学会集会博物館委員会企画検討
- ・日本整形外科学会学会集会時企画の検討
- ・来館説明者公募及び審査
- ・来館者アンケートの実施

★委員会開催 なし、持ち回り審議回数 10回

(2) 収益事業

<収1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行った。

<収2>

第72回年次学会集会上において、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施、本学会会場での展示小間とWEB広告スペースを提供した。

<収3>

本学会が所有している什器備品の一部を一般社団法人日本麻酔科医会連合に賃貸した。

(3) その他（管理運営部門）

1) 総務委員会

【業務内容】

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し、学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。また、教育事業ともなる周術期管理チーム認定制度運営に関し、他団体連携の管理を行いつつ、周術期特定行為研修事業の取りまとめをあわせて行う。

本学会の将来あるべき法人の姿を検討するため、将来構想の策定や渉外活動を担当する。

【2025 年度報告】

第 72 回年次学術集会における委員会企画（診療報酬フォーラム）の実施と次年度企画の検討，2026 年度名誉会員の推薦受付および審査，不採算薬価改定を要望する企業への協力，会員専用ページ掲載物の転載申請制度の検討および関連規則の整備を行った。また，外部団体，関連諸団体との交流活動や各種対応を行った。

社会保険部会では，令和 8 年度診療報酬改定に向けての要望対応（要望書詳細作成，厚生労働省ヒアリング），麻酔関連項目の見直し案検討，供給停止予定品目の検討，医療ニーズの高い未承認薬・適応外薬の募集，減薬・休薬に関する研究シーズ提案の検討等を行った。会則検討部会では，規則の制定および改廃の確認を行った。

また，下記外部団体への委員派遣を行った。

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）
- ・臓器移植関連学会協議会
- ・厚生労働省 医師の働き方改革の水準審査（C-2 水準審査）
- ・日本外科学会 CST 推進委員会・CST 事業の法人設立準備委員会
- ・厚生労働省 医薬局 血液対策課 薬事審議会 血液事業部会

★委員会開催回数 3 回：（8 月 21 日，10 月 30 日，2 月 19 日）持ち回り審議回数 28 回 意見収集回数 6 回

2) 財務委員会

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には，学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために，過去の予算案，決算書，財務管理の実績と現状分析，および将来的予測から，正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために，健全な財務状況を維持し，地震など災害発生時にも事業継続を可能とするような計画を立案する。

【2025 年度報告】

- ・2024 年度決算，2025 年度各月月締め決算，2025 年度上半期決算，2025 年度暫定決算検討
- ・2026 年度予算案の検討
- ・長期財務計画確認
- ・支部学術集会財務改善案の検討
- ・4 月理事会時ハラスメント研修 支払い承認
- ・会員管理システム改修 状況整理と財務的検討
- ・安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイドの改訂事業立ち上げ予算確認
- ・72 回学術集会暫定決算
- ・医学生招待企画 参加料金額検討
- ・第 73 回学術集会 会長企画招待演者の特別謝金検討，中高生向け公開講座の開催について財務的確認
- ・AARS 口座の収支決算書確認
- ・日本歯科麻酔学会の年会費 今後の支払い

★委員会開催回数 12 回（4 月 22 日，5 月 13 日，6 月 20 日，7 月 18 日，8 月 22 日，9 月 17 日，10 月 17 日，11 月 21 日，12 月 12 日，1 月 23 日，2 月 20 日，3 月 23 日）持ち回り審議回数 2 回

3) 倫理委員会

【業務内容】

倫理委員会は，学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合，その処分を含む対応について検討する。

利益相反部会では，学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる利益相反について検討する。学会や会務に関わる会員および，非会員に利益相反が生じた場合，その処分を含む対応について検討する。

【2025 年度報告】

- ・下記 4 件の倫理審査を実施
 - ①「麻酔博物館特別展示アンケート」
 - ②「2025 年度支部学術集会アンケート」
 - ③「2025 年度術中麻酔管理における多職種連携の現状調査に関するアンケート」
 - ④「シンポジウム参加者を対象とした麻酔科医のワークライフインテグレーションに関する現状把握と課題抽出」
-
- ・下記 3 件の処分案について検討し、理事会に提案
 - ① 道路交通法違反により行政処分を受けた会員の本学会処分案
 - ② 建造物侵入、及び迷惑行為等防止条例違反により行政処分を受けた会員の本学会処分案
 - ③ 専門医更新申請書類に所属施設の署名、押印に疑義があり審査中
-
- ・定時社員総会での情報漏洩が発生した事案に関する調査を行い、対象者の処分要否を検討した。
 - ・指針・ガイドラインの制作・改訂にあたる利益相反調査を実施した。

★委員会開催回数 5回（5月2日，8月4日，10月29日，1月27日，3月19日）持ち回り審議回数 1回

4) 事務局

【業務内容】

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する，と規定されるとともに，事務局長は理事の中から理事会が選任すること，事務長及び所要の職員を置くこと，と規定されている。

【2025 年度報告】

- ・新入会者の審査
- ・2024 年度事業報告，2025 年度上半期事業報告，2026 年度事業計画の確認と検討
- ・2024 年度業務監査対応，2025 年度上半期業務監査対応
- ・長期・中期・短期計画の確認
- ・会員管理システム改修状況の確認と検討
- ・円滑な事務局業務推進のための提案の確認と検討
- ・日本老年学会との著作物に関する覚書案の確認と検討
- ・事務局委員の業務の確認
- ・会員メール，メルマガ，代議員メールの使い分けの確認と検討
- ・外国籍事務局職員の対応
- ・事務局員面談の状況の確認
- ・事務局員への業務評価の確認
- ・海外出張 2025 年度予定の確認
- ・事務局出張報告 廃止の検討
- ・会議開催の手順の変更
- ・学術集会・支部集会中の会議開催の許容範囲の検討
- ・WEB 会議運用ルール設定の変更
- ・事業計画の書式の変更
- ・「事務局所在地」ページの改善
- ・会員と事務局員の conflict に対する対応
- ・警察からの問合せ対応
- ・安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイドの改訂 事業承認
- ・会議参加誓約書について会員からの指摘・意見の確認
- ・スケジューリング・持ち回り審議等，省力化ツール検討
- ・日本麻酔科学会運営研究会（事務局インシデント発表会）開催と実施報告

- ・専門医口頭試験問題の著作権侵害疑いの問い合わせの確認と検討
- ・内閣府による令和7年度点検調査対応
- ・理事の確認資料のセキュリティと手順の検討
- ・定年後の継続再雇用の検討
- ・海外学会出張報告
- ・支部部会の合同会議の開催手順の確認と検討
- ・第73回学術集会 運営会社外注の確認, 学術集会の運営形態の理解
- ・外部理事・監事 対応
- ・専門医試験の事務局員配置とワークフローの振り返りと課題の確認

★委員会開催数 7回(4月11日, 7月7日, 8月25日, 9月25日, 10月24日, 11月13日, 3月16日) 持ち回り審議回数 21回

5) ハラスメント対策室

【業務内容】

組織の運営を円滑にするためのハラスメント防止策を検討する。

【2025年度報告】

- ・ハラスメント事案の調査および報告書の提出
- ・ハラスメント防止講習会の実施
- ・「秘密保持誓約書」の役員への提出依頼

★委員会開催回数 1回(4月25日)

6) DEI 推進室

【業務内容】

Diversity (多様性), Equity (公平性), Inclusion (包括性) を重視し, 会務対応や実務経験等に様々な人材を登用し, 将来的な役員構成において多様性をもたせるための活動を行う。

麻酔科医がキャリアを諦めることなく活躍できる働き方の工夫や制度の紹介等を行い, 性別・年齢・社会的状況などに応じて充実した働き方の提案を行う中で, 麻酔科診療の継続につながるような活動を検討する。職場の公平性を意識し, 男女を問わず利用できる勤務体系の紹介, 育児休暇の利用, 復職支援システムを確立なども含め, 麻酔科医のモチベーションを下げない働き方を推進する。

【2025年度報告】

支部学術集会の一般演題座長に女性会員を積極登用するよう各支部会長に依頼, 次々年度学術集会委員会企画の検討を行った。

中長期短期計画の見直しにあたり, 本推進室の今後の在り方について改めて検討し, 調査の在り方検討, 事業活動内容の精査を行うために, 2019年度に実施した男女共同参画アンケートの回収結果の確認と再解析を行い, ホームページへの掲載を行った。

★持ち回り審議回数 4回

7) 支部委員会

【業務内容】

7部会(北海道・東北, 関東・甲信越, 東京, 東海・北陸, 関西, 中国・四国, 九州)を下部組織として配置し, 理事会決定事項の情報共有ならびに日本医療安全調査機構などからの事故調査の依頼に対し, 本学会として委員派遣を行う。

【2025年度報告】

各部会を開催し, 理事会報告, 2028年度支部学術集会会長の検討等を行った。関西部会においては, 関西支部症例検討会(マンスリー)を3回(6月21日, 11月29日, 2月14日)開催した。

★部会開催回数

北海道・東北	3回
関東・甲信越	3回
東京	3回
東海・北陸	3回
関西	3回
中国・四国	3回
九州	3回

8) 理事長管轄

【業務内容】

代表理事業務全般，ならびに発生事象の対応部門の決定，他団体渉外活動に加え，管轄としている JSA-PIMS WG，会員管理システム改修 WG において，偶発症例調査などの JSA-PIMS にまつわる対応，会員管理システム・会員専用ホームページ・会員専用アプリにまつわる対応を行う。

【2025 年度報告】

本学会の代表理事業務，外部団体との交渉，事業計画外業務の対応組織の決定を適宜行った。

また，JSA-PIMS に関しては 2024 年偶発症例調査集計対応，2025 年偶発症例調査の調査依頼対応等を行った。

会員管理システムについては 2025 年 4 月に 1 次開発分の新システム稼働を行い，2025 年 12 月に 1.5 次開発分の稼働を行った。また認定制度変更に伴うスポット改修開発も行った。

また本学会として収集すべきデータ，情報集約について検討を開始した。

9) その他

【登録・派遣】

日本医師会，日本医学会，厚生労働省医道審議会標榜医審査会，日本専門医機構麻酔科領域研修委員会，日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会，外科関連学会協議会，外科系医学会社会保険委員会連合，日本外科系連合学会，日本救急医療財団，日本蘇生協議会，3 学会合同呼吸療法士認定委員会，日本歯科麻酔学会，全国 MC 協議会連絡会世話人会，全国医療安全共同行動，禁煙推進学術ネットワーク，日本医療安全調査機構，肺血栓塞栓症専門分析部会，中心静脈カテーテルに関する専門分析部会，ICD 制度協議会，医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会，ISO/TC121 国内委員会，JIS 原案作成委員会委員，人工臓器治療関連学会協議会，臓器移植関連学会協議会，緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会，日本母体救命システム普及協議会，無痛分娩関係学会・団体連絡協議会，プログラム開発・改訂委員会，研修企画委員会，インストラクター育成委員会，認定委員会，学術委員会，幹事会，WFSA，AARS 等に委員を派遣し，各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

日本麻酔科医会連合の理事に本学会会員が就任し，麻酔関連団体との交渉，麻酔科全体の問題の検討を行なっている，また，当学会から職員の出向，事務所の一部貸し出しを行い，2024 年度には主に以下の事項について連携・協力した。

- ・当学会の専門医共通講習コンテンツの作成を日本麻酔科医会連合に依頼

【各種学術集会協賛・後援】

関連協力団体の学術集会および講習会，市民公開講座等を協賛・後援を行った。

6. 2025 年度委員会委員等一覧

■■ 理事長管轄 責任者：内田 寛治 ■■

◆ JSA-PIMS WG

W G 長：澤 智博

メンバー：石原 大雅 宇賀田 圭 内田 寛治 岡本 浩嗣 小澤 章子
北川 裕利 蔵谷 紀文 坂口 嘉郎 佐藤 威仁 讃岐美智義

鈴木 昭広	田中 克哉	富岡 俊也	長瀬 清	原 哲也
藤村 直幸	増井 健一	水野 彰人	山内 正憲	山田 高成
山田 康貴	山本 知裕			

◆ 会員管理システム改修 WG

W G 長：讃岐美智義
 メンバー：澤 智博 杉田 道子 鈴木 昭広 田中 克哉 田村 岳士
 長瀬 清 増井 健一 山田 高成
 オブザーバー：萬 知子

理事長管轄の外部団体

- 日本医師会
 疑義解釈委員会：齋藤 繁
- 日本医学会
 評議員：内田 寛治
 連絡委員：山内 正憲
- 日本医学会連合
 選挙管理委員会 委員：高雄由美子
- 日本医療機器学会 ISO/TC121 国内委員会
 委員：小嶋 大樹 藤原 亜紀
- 日本母体救命システム普及協議会 JCIMELS
 理事：廣瀬 宗孝 水野圭一郎
- 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会 JALA
 委員：大原 玲子 廣瀬 宗孝 水野圭一郎
- World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)
 Obstetric Anaesthesia Committee：奥富 俊之
 Paediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文
 Pain Management Committee：天谷 文昌
- Asian and Australasian Regional Section (AARS)
 Treasurer：山蔭 道明

■■■ 常置委員会 ■■■

総務委員会 担当常務理事：富岡 俊也

委員 長：富岡 俊也
 副委員 長：佐藤 哲文
 委員：大槻 明広 小澤 章子 北川 裕利 平木 照之 坊垣 昌彦
 武藤ひろみ

〔会則検討部会〕

部会 長：大槻 明広
 部会 員：小澤 章子 川越いづみ 北川 裕利 柴田 正幸 鈴木 武志
 平木 照之 武藤ひろみ

〔社会保険部会〕

部会 長：佐藤 哲文
 部会 員：天谷 文昌 磯山 智史 川島征一郎 塚田さよみ 坊垣 昌彦
 宮津 光範 山本 俊介

総務委員会管轄の外部団体

[第 72 回学術集会実行委員会]

委員長：小板橋俊哉

副委員長：山蔭 道明

委員：井上 敬 内田 寛治 江木 盛時 小田 裕 加藤 里絵
 合谷木 徹 鈴木 孝浩 鈴木 康之 新山 幸俊 平田 直之
 山田 高成

◆ 循環 WG

WG 長：平田 直之

メンバー：秋吉浩三郎 下川 亮 田村 高廣 横塚 基 吉川 裕介

◆ 呼吸 WG

WG 長：内田 寛治

メンバー：川越いづみ 河村 岳 金 史信 田垣内祐吾 竹内 宗之
 吉田 健史

◆ 神経 WG

WG 長：合谷木 徹

メンバー：荻野 祐一 神里 興太 榎方 哲也 古藤田眞和 古谷 健太
 山下 敦生

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：鈴木 康之

産科 WG 長：加藤 里絵

メンバー：青山 和由 岡田 尚子 狩谷 伸享 君塚 基修 杉田 道子
 谷口 由枝 名和由布子 野口 翔平 原 哲也 宮津 光範

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

WG 長：新山 幸俊

メンバー：須藤 貴史 住谷 昌彦 原田 英宜 山内 正憲 山口 重樹
 若泉 謙太

◆ 救急・ICU WG

WG 長：江木 盛時

メンバー：青木 善孝 宇賀田 圭 大藤 純 甲斐 慎一 佐藤 暢一
 関野 元裕

◆ 麻酔科関連-1 WG

WG 長：鈴木 孝浩

メンバー：伊藤 健二 印南 靖志 香取 信之 長坂 安子 水谷 光

◆ 麻酔科関連-2 WG

WG 長：小田 裕

メンバー：井上 聡己 恵川 淳二 末廣 浩一 関 博志
 高澤 知規

※木倉 睦人氏は 2025 年度期中に辞任

◆ 麻酔全般 WG

WG 長：山田 高成

メンバー：大槻 明広 黒澤 温 近藤 一郎 坂口 嘉郎 谷 真規子
 長瀬 清

[第 73 回学術集会実行委員会]

委員長：山蔭 道明

副委員長：川口 昌彦

委員：内田 寛治 江木 盛時 加藤 里絵 榎方 哲也 鈴木 孝浩
 鈴木 康之 高澤 知規 新山 幸俊 平田 直之 山田 高成

◆ 循環 WG

- W G 長：平田 直之
メンバー：伊藤明日香 田村 高廣 藤田 信子 前田 琢磨 吉川 裕介
- ◆ 呼吸 WG
W G 長：内田 寛治
メンバー：阿部 世紀 川越いづみ 河村 岳 駒澤 伸泰 東條健太郎
吉田 健史
- ◆ 神経 WG
W G 長：櫛方 哲也
メンバー：恵川 淳二 神里 興太 立花 俊祐 古谷 健太 宮崎 智之
山下 敦生
- ◆ 小児・産科 WG
小児 WG 長：鈴木 康之
産科 WG 長：加藤 里絵
メンバー：青山 和由 秋永智永子 岡田 尚子 上村 友二 君塚 基修
谷口 由枝 茶木 友浩 名和由布子 野口 翔平 原 哲也
宮津 光範
- ◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG
W G 長：新山 幸俊
メンバー：澤田 敦史 住谷 昌彦 原田 英宜 藤原 亜紀 山口 重樹
若泉 謙太
- ◆ 救急・ICU WG
W G 長：江木 盛時
メンバー：青木 善孝 宇賀田 圭 甲斐 慎一 数馬 聡 佐藤 暢一
関野 元裕
- ◆ 麻酔科関連－1 WG
W G 長：鈴木 孝浩
メンバー：岩崎 創史 小原 伸樹 中澤 春政 廣瀬 宗孝 松岡 義和
- ◆ 麻酔科関連－2 WG
W G 長：高澤 知規
メンバー：朝元 雅明 末廣 浩一 早水 憲吾 増井 健一
- ※長谷川麻衣子氏は 2025 年度期中に辞任
- ◆ 麻酔全般 WG
W G 長：山田 高成
メンバー：枝長 充隆 大槻 明広 坂口 嘉郎 谷 真規子 長瀬 清
松木 悠佳

[第 74 回学術集会実行委員会]

- 委員 長：川口 昌彦
副委員 長：山内 正憲
委員：江木 盛時 小原 伸樹 加藤 里絵 川越いづみ 川股 知之
河野 崇 鈴木 康之 田中 聡 内藤 祐介 平田 直之
山田 高成
- ◆ 循環 WG
W G 長：平田 直之
メンバー：伊藤明日香 甲谷 太一 田村 高廣 藤田 信子 前田 琢磨
- ◆ 呼吸 WG
W G 長：川越いづみ
メンバー：鶴澤 康二 河村 岳 鈴木 昭広 東條健太郎 外山 裕章
吉田 健史
- ◆ 神経 WG

WG 長：河野 崇
メンバー：恵川 淳二 神里 興太 櫛方 哲也 立花 俊祐 古谷 健太
森 隆

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：鈴木 康之
産科 WG 長：加藤 里絵
メンバー：青山 和由 岡田 尚子 上村 友二 狩谷 伸享 田辺瀬良美
谷口 由枝 茶木 友浩 土居 ゆみ 野口 翔平 原 哲也
宮津 光範

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

WG 長：川股 知之
メンバー：大橋 宣子 栗山 俊之 新山 幸俊 藤原 亜紀 宮崎 智之
若泉 謙太

◆ 救急・ICU WG

WG 長：江木 盛時
メンバー：青木 善孝 甲斐 慎一 川上 正晃 壽原 朋宏 関野 元裕
園部 奨太

◆ 麻酔科関連－1 WG

WG 長：小原 伸樹
メンバー：位田みつる 仙頭 佳起 中澤 春政 廣瀬 宗孝 松岡 義和

◆ 麻酔科関連－2 WG

WG 長：田中 聡
メンバー：朝元 雅明 末廣 浩一 田中 暢洋 増井 健一

※長谷川麻衣子氏は 2025 年度期中に辞任

◆ 麻酔全般 WG

WG 長：山田 高成
メンバー：大槻 明広 坂口 嘉郎 谷 真規子 内藤 祐介 長瀬 清
松木 悠佳

〔「麻酔」編集会議〕

委員：井上 聡己 江木 盛時

〔機関誌専門部会〕

部会長：井上 聡己
部会員：天谷 文昌 市川 順子 市瀬 史 小原 伸樹 川口 昌彦
河野 崇 川股 知之 末廣 浩一 関 博志 照井 克生
平田 直之

※長谷川麻衣子氏は 2025 年度期中に辞任

〔JA Clinical Reports Editorial Board〕

Editor-in-Chief：小原 伸樹
Section Editor：青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 井上 莊一郎
江木 盛時 垣花 学 川口 昌彦 河野 崇
櫛方 哲也 齋藤 繁 末廣 浩一 角倉 弘行
高澤 知規 照井 克生 日向 俊輔 平田 直之
堀田 訓久 増井 健一 村田 寛明 山蔭 道明

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：天谷 文昌

Associate Editor-in-Chief : 浅井 隆
 Section Editor : 青山 和由 (Pediatric Anesthesia)
 江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)
 小原 伸樹 (Clinical Reports)
 河野 崇 (Clinical Pharmacology)
 榎方 哲也 (Neuroscience)
 末廣 浩一 (Perioperative Assessment and Management)
 高澤 知規 (Social Problem, Education and Economics)
 田中 聡 (Pain Medicine)
 東條健太郎 (Respiratory Medicine)
 新山 幸俊 (Clinical Monitoring)
 日向 俊輔 (Obstetric Anesthesia)
 平田 直之 (Cardiovascular Medicine)
 増井 健一 (Statistics)
 村田 寛明 (Regional Anesthesia)
 Editorial Board : 角倉 弘行
 山蔭 道明

[麻酔科学用語専門部会]

部 会 長 : 新山 幸俊
 部 会 員 : 枝長 充隆 角田 奈美 川越いづみ 志馬 伸朗
 角倉 弘行 増井 健一 村田 寛明

※岡本 浩嗣氏は 2025 年度中辞任

学術委員会管轄の外部団体

- 一般社団法人 臨床試験医師養成協議会
 理 事 : 井上 聡己

国際交流委員会 担当常務理事 : 山田 高成

委 員 長 : 森松 博史
 副 委 員 長 : 田辺瀬良美
 委 員 : 斉藤 仁志 長坂 安子 松木 悠佳 安田 篤史 吉田 健史

広報委員会 担当常務理事 : 富岡 俊也

委 員 長 : 杉田 道子
 副 委 員 長 : 川越いづみ 坂口 嘉郎
 委 員 : 出野 智史 内田篤治郎 長瀬 清 山田 康貴

◆ 周術期禁煙推進 WG

W G 長 : 川越いづみ
 メンバー : 甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
 米倉 寛
 オブザーバー : 飯田 宏樹

◆ U40/ITF (Interactive Task Force)

W G 長 : 山田 康貴
 メンバー : 石原 大雅 鶴 沼 篤 衛藤 由佳 岡野 弘 荻野 仁史
 金子 翔平 河野 裕美 佐藤 威仁 佐藤 恒久 杉本 健輔
 遠山 光 中森 裕毅 藤本 由貴 松岡 勇斗 水野 彰人
 山本 知裕 鐘水 健也 弓場 智雄
 オブザーバー : 田村 岳士

広報委員会管轄の外部団体

- 禁煙推進学術ネットワーク
理 事：飯田 宏樹
委 員：川越いづみ

教 育 委 員 会 担当常務理事：田中 克哉

- 委 員 長：田中 克哉
副 委 員 長：谷口 巧 秋吉浩三郎
委 員：小嶋亜希子 齋藤 淳一 鈴木 武志 森 隆
オブザーバー：内野 博之 佐和 貞治
※堤 保夫氏は 2025 年度中に辞任

◆ CBT WG

- W G 長：鈴木 武志
メ ン バ ー：秋吉浩三郎 田中 克哉 寺嶋 克幸 新山 幸俊
オブザーバー：佐和 貞治

◆ 臨床実績認定用 E-test 検討 WG

- W G 長：谷口 巧
メ ン バ ー：秋吉浩三郎 枝長 充隆 大槻 明広 荻野 祐一 杉田 道子
関野 元裕 高木 俊介 高澤 知規 田中 克哉 新山 幸俊
藤村 直幸

◆ 初期研修医に対する教育ガイドライン(手順書)作成のための WG

- W G 長：鈴木 昭広
メ ン バ ー：小澤 章子 栗山 俊之 田中 克哉 谷 真規子 中澤 春政
新山 幸俊 二階 哲朗

◆ 新しい指導医資格の教育・認定方法検討 WG

- W G 長：田中 克哉
メ ン バ ー：小澤 章子 川口 昌彦 小嶋 亜希子 齋藤 淳一 田中 聡
坊垣 昌彦 村田 寛明

◆ ICD 制度協議会運営 WG

- W G 長：齋藤 淳一
メ ン バ ー：生田 義浩 小澤 章子 鈴木 昭広 森山 潔

[認定審査委員会]

- 委 員 長：田中 克哉
副 委 員 長：秋吉浩三郎 森 隆
委 員：鈴木 武志
※堤 保夫氏は 2025 年度中に辞任

[第 1 部会 (専門医認定)]

- 部 会 長：秋吉浩三郎
部 会 員：倉橋 清泰 合谷木 徹 坂口 嘉郎 谷口 巧
戸田雄一郎 森 隆
※堤 保夫氏は 2025 年度中に辞任

[認定審査委員会 第 1 部会 (専門医認定) 筆記試験]

- 問題作成責任者：堤 保夫
メ ン バ ー：秋吉浩三郎 朝元 雅明 井口 直也 井上 聡己 北村 咲子
関野 元裕 祖父江和哉 富岡 俊也 牧野 洋 溝田 敏幸
森山 潔 山田 高成
オブザーバー：鈴木 武志

〔認定審査委員会 第1部会（専門医認定）口頭試験〕

問題作成責任者：江島 豊

メンバー：石川 真士 恵川 淳二 小山 薫 五代 幸平 澤田 敦史
高澤 知規 橘 一也 谷 真規子 寺島 哲二 新山 幸俊
藤井 啓介 御室総一郎 森 隆

オブザーバー：田中 克哉

〔認定審査委員会 第2部会（指導医認定）〕

部会長：田中 克哉

部会員：大槻 明広 斎藤 淳一 鈴木 武志

〔認定審査委員会 第3部会（認定医、認定病院認定）〕

部会長：森 隆

部会員：石川 真士 小嶋亜希子 祖父江和哉 山浦 健

〔認定審査委員会 第4部会（研修プログラム認定）〕

部会長：秋吉浩三郎

部会員：加藤 里絵 倉橋 清泰 小嶋亜希子 小山 薫
斎藤 淳一

〔2025年度第64回麻酔科専門医試験〕

当日試験官（筆記）：田中 克哉

当日試験官（口頭）：内田 寛治 田中 克哉 谷口 巧 小川 覚
江島 豊 小山 薫 森 隆 橘 一也
藤井 啓介 澤田 敦史 新山 幸俊 石川 真士
御室総一郎 高澤 知規 五代 幸平 恵川 淳二
寺島 哲二 祖父江和哉 山田 高成 井上 聡己
秋吉浩三郎 牧野 洋 溝田 敏幸 関野 元裕
森山 潔 富岡 俊也 鈴木 武志 白水 和宏
安田 篤史 賀来 隆治 山下 敦生 須藤 貴史
小幡 典彦 鈴木 昭広 紙谷 義孝 二階 哲朗
清水 一好 秋山 浩一 斎藤 淳一 小嶋亜希子
加藤 純悟 松木 悠佳 中村 智之 吉田 健史
河野 崇 倉橋 清泰 朝元 雅明 荻野 祐一
原 将人 北川 良憲 西原 佑 細川 幸希
小尾口邦彦

教育委員会管轄の外部団体

- 日本専門医機構 専門医検討委員会（認定・更新）
委員：田中 克哉
- 日本専門医機構 研修検討委員会（プログラム等）
委員：田中 克哉
- 日本集中治療医学会 集中治療科専門医検討委員会
委員：江木 盛時 谷口 巧 吉田 健史
- 救急科サブスペシャリティ領域連絡協議会（集中治療領域）
委員：田中 克哉 原 哲也 藤村 直幸
- 日本専門医機構 集中治療科領域検討委員会
委員：内田篤治郎 谷口 巧 吉田 健史
- ICD制度協議会
委員：斎藤 淳一

安全委員会 担当常務理事：原 哲也

委員長：原 哲也

副委員長：藤原 亜紀 山口 重樹

委員：枝長 充隆 谷 真規子 中村 智之 藤村 直幸 水本 一弘

[CCP 専門部会]

部会長：山口 重樹

部会員：杉田 道子 中澤 春政 長瀬 清 二階 哲朗 吾妻 俊弘

◆ APSF ニュースレター日本語版作成 WG

WG 長：祖父江和哉

メンバー：太田 亮 岡田 尚子 川越いづみ 木村 哲朗 車 有紀
酒井 陽子 澤 智博 関 博志 仙頭 佳起 田辺久美子
豊國 佑季 中澤 春政 福田 征孝 藤井 怜 藤本 陽平
村木 真美 森 由美子 安田 篤史 吉村 達也

◆ 全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン作成 WG

WG 長：仙頭 佳起

メンバー：加藤 里絵 小竹 良文

オブザーバー：磯野 史朗 鈴木 康之

◆ 小口径コネクターの影響検討 WG

WG 長：斎藤 淳一

メンバー：海法 悠 小嶋 大樹 野口 智子 山内 正憲

◆ 全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針作成 WG

WG 長：小原 伸樹

メンバー：鎌田ことえ 柴田 康之 中西 美保 藤村 直幸

オブザーバー：讃岐美智義

◆ 悪性高熱症管理ガイドライン改訂 WG

WG 長：堤 保夫

メンバー：市原 靖子 長坂 浩 三好 寛二 向田 圭子 安田 季道

◆ 術前絶飲食ガイドライン改訂 WG

WG 長：祖父江和哉

メンバー：宇賀田 圭 佐々木俊郎 谷口 英喜 山添 大輝

◆ 新規 PIMS の安全管理・偶発症検討 WG

WG 長：山内 正憲

メンバー：秋吉浩三郎 伊藤 伸子 井上 聡己 大槻 明広 佐藤 威仁
志賀 卓弥 中村 京太 藤村 直幸 牧戸香詠子 若泉 謙太

◆ MEP モニタリング時の麻酔管理のためのプラクティカルガイド改訂 WG

WG 長：川口 昌彦

メンバー：和泉 俊輔 一ノ宮大雅 垣花 学 小嶋 大樹 林 浩伸
福岡 尚和 古谷 健太 吉谷 健司 米倉 寛

オブザーバー：飯田 宏樹

◆ アナフィラキシーガイド改訂 WG

WG 長：高澤 知規

メンバー：天野 靖大 崎村正太郎 杉山 由紀 堀内 辰男 松岡 義和

◆ 安全な麻酔のためのモニター指針改訂 WG

WG 長：鈴木 孝浩

メンバー：岩崎 肇 高木 俊一 原 真理子 松木 悠佳

◆ 安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイド改訂 WG

WG 長：徳嶺 譲芳

メンバー：枝長 充隆 岡野 弘 武田 吉正

オブザーバー：山蔭 道明

安全委員会管轄の外部団体

- 医療安全全国共同行動
委員：原 哲也
- 人工臓器治療関連学会協議会
委員：藤野 裕士

関連領域検討委員会 担当常務理事：田中 克哉

委員長：藤村 直幸
副委員長：照井 克生 間宮 敬子
委員：鈴木 昭広 中嶋 康文 名和由布子 松田 直之 渡邊 恵介
オブザーバー：岡本 浩嗣

〔集中治療領域検討部会〕

部会長：松田 直之
部会員：内山 昭則 江木 盛時 数馬 聡 志馬 伸朗 吉田 健史

〔ペイン領域検討部会〕

部会長：渡邊 恵介
部会員：上野 博司 大西 詠子 澤田 敦史 濱口 眞輔

〔緩和領域検討部会〕

部会長：間宮 敬子
部会員：佐藤 哲観 橋口さおり 松本 禎久
オブザーバー：天谷 文昌

〔救急領域検討部会〕

部会長：鈴木 昭広
部会員：志馬 伸朗 谷口 巧 成松 英智 野田英一郎

〔心臓血管麻酔領域検討部会〕

部会長：中嶋 康文
部会員：黒川 智 武井 祐介 能見 俊浩 平田 直之 吉川 裕介

〔小児麻酔領域検討部会〕

部会長：名和由布子
部会員：泉 薫 岩崎 達雄 香川 哲郎 川人 伸次 吉野 淳

〔産科麻酔領域検討部会〕

部会長：照井 克生
部会員：狩谷 伸享 杉田 道子 角倉 弘行

◆ ECC 講習会支部担当責任者 WG

WG 長：高橋 伸二
メンバー：伊関 憲 田代 尊久 堤 保夫 羽場 政法 山崎 潤二

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考える WG

WG 長：鈴木 昭広
メンバー：荒川 穰二 漢那 朝雄 谷口 巧 原 哲也

関連領域検討委員会管轄の外部団体

- 日本救急医療財団

心肺蘇生法委員会委員：鈴木 昭広
非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会委員：鈴木 昭広

- 日本蘇生協議会
理事：小澤 章子
- 全国MC協議会連絡会世話人会
世話人：松田 直之
- 緩和ケア関連団体会議
委員：間宮 敬子
- 3学会合同呼吸療法士認定委員会
委員：内田 寛治 川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

麻酔博物館委員会 担当常務理事：山内 正憲

委員長：上林 卓彦
委員：尾前 毅 香河 清和 澤村 成史 谷口 由枝 牧野 洋
オブザーバー：土手健太郎

〔麻酔博物館館員ボード〕

館長：齋藤 繁
館員：伊吹 京秀 奥富 俊之 金子 武彦 上林 卓彦 武田 純三
土手健太郎 牧野 洋 松木 明知 間宮 敬子

■■■ 特別委員会 ■■■

【多職種連携委員会】 担当常務理事：山内 正憲

委員長：廣瀬 宗孝
副委員長：藤村 直幸
委員：大西 詠子 小板橋俊哉 鈴木 武志 内藤 祐介 水野圭一郎

※長谷川麻衣子氏は2025年度中に辞任

〔周術期管理チーム委員会〕

委員長：廣瀬 宗孝
委員：川口 昌彦 川股 知之 坂口 嘉郎 鈴木 孝浩 鈴木 武志
平田 直之 藤村 直幸
オブザーバー：松本美志也
日本手術看護学会：木村 三香 山本 千恵 横田富美子
日本病院薬剤師会：柴田ゆうか 舟越 亮寛
日本臨床工学技士会：上塚 翼 北本 憲永 小西 康司
日本口腔外科学会：栗田 浩 関谷 秀樹
日本術後痛学会：ハシチウオヴィッチ トマシユ

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委員長：廣瀬 宗孝
副委員長：坂口 嘉郎 鈴木 武志
委員：井上 聡己 大江 克憲 大槻 明広 田中 聡
オブザーバー：松本美志也
日本手術看護学会：木村 三香 横田富美子
日本臨床工学技士会：北本 憲永 佐々木慎理

◆ 周術期管理チーム試験問題作成 WG

W G 長：川股 知之
 メンバー：石田 高志 石田 裕介 岡田 雅子 上村 友二 神谷 岳史
 北村 咲子 酒井 陽子 柴崎 雅志 鈴木 昭広 高田 真二
 中澤 圭介 中澤 遥 蜷川 純 藤本 昌史 松浦 正
 簗島 梨恵 三股 亮介 安田 篤史 矢田部智昭 吉田 朱里
 日本手術看護学会：岡崎 政秀 野瀬 珠美
 日本臨床工学技士会：荒木 康幸 内山明日香

◆ 周術期管理チームテキスト作成 WG

W G 長：鈴木 孝浩
 メンバー：植木 隆介 河野 達郎 佐藤 暢一 高田 真二 道宗 明
 中澤 春政
 日本手術看護学会：山口 円
 日本病院薬剤師会：柴田 ゆうか
 日本臨床工学技士会：藤田 智一

◆ 周術期管理チームセミナーWG

W G 長：坂口 嘉郎
 メンバー：植木 隆介 小原 伸樹 鎌田 ことえ 川瀬 宏和 鈴木 聡
 関 博志 内藤 祐介 長坂 安子 長瀬 清 原 将人
 湊 弘之

◆ 周術期管理チームセミナーWG 術後疼痛管理研修作業部門

部 門 長：川股 知之
 部 門 員：坂口 嘉郎 ハシチウオヴィッチ トマシュ
 オブザーバー：廣瀬 宗孝

【特定行為研修管理委員会】

委 員 長：廣瀬 宗孝
 委 員 員：川越いづみ 北川 裕利 佐藤 暢一 田中 聡 戸部 賢
 内藤 祐介 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明
 日本手術看護学会：ミルズしげ子
 外 部 委 員 員：鈴木敬一郎 山口 円

【特定行為研修審査委員会】

委 員 長：廣瀬 宗孝
 副 委 員 長：北川 裕利 内藤 祐介
 委 員 員：秋吉浩三郎 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明
 外 部 委 員 員：山口 円

◆ 臨床工学技士に関する安全管理指針 WG

W G 長：藤村 直幸
 メンバー：岡本 浩嗣 小澤 章子 亀井 佑哉 北本 憲永 木村 政義
 北川 裕利 田中 聡 鳥羽 好恵 内藤 祐介 長坂 安子
 中村 京太 横山 健
 外 部 委 員 員：亀井 祐哉 北本 憲永 木村 政義

多職種連携委員会管轄の外部団体

- 日本臨床工学技士会
 理 事：山蔭 道明 2026/6/6 交代予定：小澤 章子

【支部委員会】 責任者：内田 寛治

委 員 長：内田 寛治
 副 委 員 長：山内 正憲

委員：井上 聡己 寺嶋 克幸 山口 重樹 谷口 巧 廣瀬 宗孝
 森松 博史 垣花 学

〔北海道・東北部会〕

部会長：井上 聡己
 総務担当：新山 幸俊 山内 正憲
 学術担当：枝長 充隆 黒澤 伸 鈴木 健二 外山 裕章 牧野 洋
 教育担当：櫛方 哲也 干野 晃嗣 山蔭 道明 横山 健 斎藤 淳一
 広報担当：斉藤 仁志 下田 栄彦

〔東京部会〕

部会長：寺嶋 克幸
 総務担当：内田篤治郎 加藤 里絵 森山 潔
 学術担当：石川 真士 鈴木 孝浩 山田 高成
 教育担当：内田 寛治 内野 博之 大江 克憲 香取 信之 武田 吉正
 広報担当：川越いづみ 澤村 成史 長坂 安子

〔関東・甲信越部会〕

部会長：山口 重樹
 総務担当：岡本 浩嗣 木下 真弓 後藤 隆久
 学術担当：井上 莊一郎 奥田 泰久 照井 克生 馬場 洋
 教育担当：北村 晶 小板橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
 広報担当：北村 享之 田中 聡

※長谷川麻衣子氏は2025年度期中に辞任

〔東海・北陸部会〕

部会長：谷口 巧
 総務担当：小澤 章子 祖父江和哉
 学術担当：秋山 浩一 賀来 隆治 高澤 知規 高橋 完
 教育担当：紙谷 義孝 中村 智之
 広報担当：高田 基志 高橋 麗子 藤田 義人 松木 悠佳

〔関西部会〕

部会長：廣瀬 宗孝
 学術担当：上林 卓彦 川口 昌彦 川股 知之 北川 裕利
 教育担当：江木 盛時
 広報担当：中嶋 康文
 部会員：天谷 文昌 上山 博史 小幡 典彦 南 敏明 美馬 裕之
 森 隆 山田 徳洪 吉田 健史

〔中国・四国部会〕

部会長：森松 博史
 総務担当：田中 克哉 戸田雄一郎 山下 敦生
 学術担当：大槻 明広 二階 哲朗
 教育担当：荻野 祐一 河野 崇
 広報担当：堤 保夫 西原 佑
 部会員：大下 恭子 奥 格 讃岐美智義 日高 秀邦 森永 俊彦

〔九州部会〕

部会長：垣花 学
 総務担当：坂口 嘉郎 矢野 武志 山浦 健

学 術 担 当：秋吉浩三郎 平木 照之 平田 直之 堀下 貴文
教 育 担 当：原 哲也 松永 明 松本 重清
広 報 担 当：泉 薫 杉田 道子 藤村 直幸 増田 美奈

支部委員会管轄の外部団体

●日本医療安全調査機構

代 表：山内 正憲
北海道東北ブロック：井上 聡己
関 東 ブ ロ ッ ク：山口 重樹
東 京 ブ ロ ッ ク：寺嶋 克幸
東海北陸ブロック：谷口 巧
近 畿 ブ ロ ッ ク：廣瀬 宗孝
中国四国ブロック：森松 博史
九 州 ブ ロ ッ ク：垣花 学

●厚生労働省医道審議会標榜医審査会

委 員：井上 聡己 小澤 章子 垣花 学 木下 真弓 寺嶋 克幸
加藤 里絵 藤原 亜紀 森松 博史

※長谷川麻衣子氏は2025年度期中に辞任

■■ 運営部門 ■■

<事務局（神戸事務局・東京事務所）> 担当常務理事：山内 正憲

事 務 局 長：山内 正憲
副 事 務 局 長：垣花 学 渋谷 博美
事 務 局：青山 和由 荻野 祐一 齋藤 繁 白水 和宏 美馬 裕之
オブザーバー：上村 裕一

<DEI推進室> 責任者：山内 正憲

推 進 室 長：渋谷 博美
室 員：木下 真弓 杉田 道子 堤 保夫 森 隆
オブザーバー：小澤 章子 川名 由貴

<ハラスメント対策室> 責任者：山内 正憲

室 長：山田 高成
室 員：外山 裕章 松木 悠佳

以上